愛知県の障害者雇用施策について

| 項目 | 28 年度事業及び実績(見込)※12 月末現在 | 29 年度事業(案) |
|-------------------------|--|--|
| 障害者の就職支援 | ○ 障害者就職面接会(学卒・一般)の開催 学卒1回、一般4回、約1,600名 ○ 障害者就労支援事業(県が養成した障害者就労支援者(新規養成30名ほか)を、求職中の障害者や就職先の事業所等に派遣し、就促と職場定着を促進(延べ350回)) ○ 障害者就業・生活支援センターの設置 12 か所 | □◇継続実施 |
| 事業主への雇用のための啓発 | ○ 企業等への障害者雇用の要請 未達成企業 2,979 社、主要経済 4 団体ほか ○ 障害者雇用促進トップセミナーの開催 参加者 423 名 ○ 障害者雇用優良事業所の表彰 5 社 ○ 障害者雇用啓発資料の作成・配布 1,000 部 | 総続実施 |
| 事業主への支援 | ○ 障害者定着雇用奨励金(国の「特定求職者雇用開発助成金」の支給終了後も、引き続きその障害者を雇用する中小企業事業主に奨励金を支給) ○ 企業向け障害者雇用相談窓口の開設(28年7月~) (電話相談や専門家である就労支援アドバイザーを派遣し支援を実施) 派遣120社 | 見直し中小企業応援障害者雇用奨励金 障害者を初めて雇用する中小企業へ奨励金を支給(600 千円/社)し、雇用の拡大を図る 拡充 窓口機能を拡充 就労支援アドバイザーをフルタイム化(月10日→20日)し、企業からの相談・支援に適切に対応 新規 企業向けの支援事業を充実 ○ 障害者雇用企業情報交換会の開催 5回雇用率の低い業種を中心に、業種別の先進障害者雇用企業の見学会を実施。企業担当者と参加者同士がお互いの課題について意見交換を行い、課題解決を図るとともに、引き続き交流が図れる機会を提供。 ○ 雇用理解促進出前講座の開催 10回従業員等の理解が得られないことが課題となっている中小企業等に対して、企業への出前講座や職場セミナーを提供。 ○ 障害者サポートセミナーの開催 5回定着支援のため、各企業で働いている障害者同士が集まり、それぞれの現状を話し、課題を共有し解決策を提示し合うことで、安心感と前向きさを生むピアサポートセミナーを開催。 ○ 障害者地域別ミニ面接会の開催 5回支援機関のフォロー付きのミニ面接会を開催。 |
| 職業能力開発支援 | ○ 施設内訓練(愛知障害者職業能力開発校 訓練生 101 名、訓練期間 1 年 愛知県春日台職業訓練校 訓練生 32 名、訓練期間 1 年) ○ 委託訓練 訓練生 377 名、訓練期間 1 月~2 年 | 拡充 知的障害者向けの職業訓練コースの新設 名古屋高等技術専門校及び岡崎高等技術専門校 訓練定員 10 名、訓練期間 1 年 |
| 地方創生推進交付金事業 | ○ 精神・発達障害者雇用促進事業(企業・障害者向けセミナー8回、面接会1回、 参加者への支援、事例集の作成) | □◇継続実施 |
| 公契約条例による取り組み (28年度~) | ○ 企画競争や入札参加資格者名簿の登録において障害者への就業支援(障害者雇用率の達成)等の事業者の社会的取り組みを評価。 | 継続実施 |
| その他 | ○ 県障害者技能競技大会(アビリンピック)の開催 参加選手122名 ○ 障害者ワークフェアの開催 来場者延べ8,623名 ○ 県の機関における知的障害者インターンシップ 参加11名 ○ 障害者多数雇用事業所等への物品・役務の優先発注 27年度79件1,060万円 ○ 第3セクター方式による重度障害者多数雇用企業の設立運営 ○ 障害者雇用審議会の開催 | □ 継続実施 |